

現状と課題

【現状】

- 国際文化科 8校では、英語はもとよりその他の外国語や様々な国の文化等を学習する機会を充実させる等、コミュニケーション能力やプレゼンテーション力に加えて世界の国の文化や伝統を理解し、尊重する態度を育成している。

グローバル科 2校では、海外大学進学に照準を合わせた教育内容の充実を図り、卓越した英語力と論理的思考力・創造力を育成している。

英語科 2校では、英語による聞く、読む、話す、書くこと及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して高い英語運用能力を育成している。

グローバル探究科 1校では、グローバルコミュニケーションコース、グローバルサイエンスコース、国際バカロレアコースを設置し、コミュニケーション能力や論理的思考力の育成を図っている。

【課題等】

- 国際関係学科13校について、受験生にとっては各学科の特徴が分かりにくいという声がある。
豊かな国際感覚と外国語運用能力を身につけた世界で活躍できる人材を育成していくため、更なる特色化が求められる。

今後の取組

各校の学科改編と教育内容の充実

- グローバル人材の育成に向け、海外大学や国際機関等と連携することにより、国際教育やグローバルな社会課題をテーマとした探究活動の充実を図るとともに、語学教育及び科学教育の充実を図るため、以下の学科改編や教育内容の充実に向けた取組について検討を進める。
 - 普通科及び国際文化科設置校における学科改編（令和11年度以降順次予定）
 - ・旭高校、枚方高校、花園高校、長野高校、佐野高校：「文理探究科（国際（仮））」に改編
 - 普通科及び専門学科（英語科・理数科）設置校における学科改編（令和10年度予定）
 - ・東高校、いちりつ高校：
 - * 東高校に英語科・理数科の機能を集約の上、総合科学科・国際文化科に改編
 - * いちりつ高校に普通科の機能を集約
 - 教育内容の充実（令和10年度予定）
 - ・総合科学科・国際文化科設置校（住吉高校、千里高校、泉北高校、東高校）及びグローバル科・普通科設置校（箕面高校、和泉高校）：
姉妹校の生徒や留学生との国際交流及びネイティブ講師等の専門人材の配置による外国語の少人数指導の実施及び科学教育の充実等、取組の更なる特色化
 - ・グローバル探究科設置校（水都国際高校）：
国際バカロレア認定校としての更なる取組の推進を図り、第2期^{※15}の運営につなぐ。

※14 総合科学科・国際文化科は住吉高校、千里高校、泉北高校の3校。普通科・国際文化科は旭高校、枚方高校、花園高校、長野高校、佐野高校の5校。普通科・グローバル科は箕面高校と和泉高校の2校。グローバル探究科は水都国際高校の1校。普通科・英語科・理数科は東高校、いちりつ高校の2校

※15 公設民営を導入しており、現在の指定管理法人への委託期間が平成31～令和10年度。2期目は令和11年度からを予定

【年次計画】

取組	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
学科改編	学科改編を決定・公表	学科改編の中学生等への周知		学科改編（順次）
国際関係学科における 教育内容の充実	教育内容の充実に向けた 検討・公表 （学校特色枠含む）	左記教育内容等の中学生等への周知（学校特色枠を含む）及び教育内容の展開		
				学校特色枠導入